

令和元年度第1回鳴門市総合計画審議会 議事概要

日時：令和元年9月5日（木） 午後3時00分から4時45分まで

場所：うずしお会館2階 第1会議室

出席者：(審議会委員22名)

大岩委員、小川委員、勘川委員、楠委員、齋藤委員、笹委員、佐竹委員、
曾良委員、多智花委員、中岸委員、戸田委員、長野委員、西川委員、平野委員、
福山委員、藤村委員、益岡委員、松本委員、村澤委員、矢野委員、山下委員、
吉田委員

(鳴門市関係者12名)

泉市長、谷副市長、安田教育長、三木政策監、尾崎事業推進監兼企画総務部長、
廣瀬市民環境部長、天満健康福祉部長、西上経済建設部長、氏橋消防長、三居
企業局次長、大林教育次長、李保議会事務局次長
事務局5人

傍聴者：なし

会議次第

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 議事
 - (1) 総合計画実施計画（平成30年度実績）について
 - (2) 令和元年度行政評価について
 - (3) 総合計画実施計画（H31-H33）について
- 6 閉会

会議資料一覧

- 【資料①】 第六次総合計画実施計画 平成30年度実績まとめ
- 【資料①-1】 掲載事業一覧表（施策体系順）
- 【資料①-2】 掲載事業一覧表（進捗状況別）
- 【資料①-3】 掲載事業一覧表（組織機構順）
- 【資料②】 令和元年度行政評価の実施について
- 【資料③】 令和元年度行政評価結果一覧表・事務事業評価シート
- 【資料④】 総合計画実施計画（H31-H33）
- 【資料④-1】 掲載事業一覧表（組織機構順）
- 【資料④-2】 掲載事業一覧表（施策体系順）

【資料⑤】 鳴門市総合計画審議会委員名簿

【資料⑥】 鳴門市附属機関設置条例

【資料⑦】 総合計画策定に関する要綱

会議経過

- 1 開会后、市長挨拶。
- 2 各委員及び市出席者を司会より紹介。
- 3 会長である山下委員より挨拶。
- 4 議事（１）について、事務局より資料①の説明を行った。
- 5 議事（２）、（３）について、事務局より資料②～④の説明を行った。
- 6 副市長より挨拶の後、閉会。

主な質疑等、議事の概要は以下のとおり。

◆議事（１）総合計画実施計画（平成３０年度実績）について

※資料①に基づき、総合計画実施計画（平成３０年度実績）の内容について事務局から説明。

山下会長

実施計画実績の進捗状況について、未達成の事業のなかで、特に課題が多い事業、また達成できた事業のなかで、とくに注目すべき事業等があれば、それぞれで挙げていただきたい。

事務局

事務局として挙げさせていただくと、課題の多い事業の一つとしては『ASA トライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業』。また、注目すべき事業としては『四国のゲートウェイ推進事業』、『ふるさと納税寄附金推進事業』があります。

また、本市全体として、平成３０年度は学校施設や消防施設の耐震化等の事業も進み、安心・安全なまちづくりが推進されたと感じております。

委員

『企業誘致推進事業』について、働き場所がなければ地域の活性化はないと思っている。働く事業所ができて雇用が生まれてまちが発展していく。

それに関連する下水道が重要であると考え。『公共下水道整備事業』もありますが、下水道の整備を出来る限り早くしていただき、企業の誘致に有利になるような形にしてほしい。産業団地のような企業の分譲地が売れたなら、新しいところを作るなど企業の誘致をしてほしい。

また『コンベンション誘致支援事業』について、誘致を進めていくには専門家の力

を借りることも必要。

『四国のゲートウェイ推進事業』にもあるとおもうが、道の駅が整備されたときには産直施設『えがお』と連携して一緒に発展することを願っている。

西上経済建設部長

下水道事業に関しては市内中心部から進めており、第三期事業計画にそって今年度から平成 37 年度まで計画的に整備を進めている。

企業誘致については民間の土地の利用状況等を調査し、分譲可能性の検討を進めているところです。

コンベンション誘致についてですが、昨年度からコンベンションについてはスポーツ合宿を対象に進めており、助成金についても拡充し、関係機関と本市スポーツ課と連携をとって積極的に交流人口を増やしていこうと取り組んでいる。

尾崎事業推進監兼企画総務部長

道の駅については令和 3 年度中の開駅にむけて進めておりますが、このたび道の駅の運営を担う指定管理の候補者の選定において、ノウハウを持っている事業者を選定しました。

道の駅に関しては地域の方に愛されるのはもちろんのこと四国のゲートウェイとして、県内外から多くの人に来ていただける目的型の施設としての整備を目指しております。

委員

道の駅と産直施設との連携をとりながら出来るだけご協力をできたらと思う。

山下会長

下水道の進捗率はどのくらいか。

西上経済建設部長

現在、供用開始している面積は、約 160 ヘクタール。その供用開始区域内での下水道への接続率は約 38.9%になる。進捗はすこしずつ進んでおり、平成 23 年度 3 月末は 15.6%程度となっております。

委員

リユーネブルク市へ使節団として青少年 12 名が訪問した。訪問の前後では少年らの表情等が変わる。すばらしい経験となっている。またこのように 40 数年交流が続いているのは鳴門市だけであり日本でも他に例がないとも聞いた。国際交流は大事なことであるので今後も続けていきたい。

国内では、昨年鳴門市の第九が 100 周年を迎えたということですのでごいと全国に広まった。大塚国際美術館も有名になっており、鳴門の知名度はあがっていると感じる。

鳴門教育大学と以前交流があったドイファナ大学の様子も見ることができ、今後また連携できれば素晴らしいと感じた。

委員

防災の観点から、高い避難場所がない地域については避難タワーの建設が必要ではないか。その際、他の施設とも一緒に考えたほうが費用対効果が良いと思うので、東馬詰の集会所と避難タワーを一緒に整備することを検討してほしい。

また川東地区にも必要ではないかと感じている。妙見山の北側は道も細く、妙見山の山肌が崩れやすいとも聞いている。避難する際に危険である。歩道橋を建て、その上を避難場所にするなどの検討もお願いしたい。

尾崎事業推進監兼企画総務部長

南海トラフ巨大地震が30年以内に起こる可能性はどんどん引き上げられてきているので、備えは必要。集会所については、地域それぞれの事情があり、歩道橋の上を避難場所にするという考え方については、高速道路上への避難ということで整備が進められてきている。費用対効果を踏まえ、避難対策について調査していきたい。

委員

現在、鳴門商工会議所の会頭をさせていただいている。公式な会ではないが、徳島商工会議所以外の5つの会頭が年に2回～3回程集まって、それぞれ事業計画書を持って話し合う。各会議所の進捗把握をしている。

県内の8市のなかで、それぞれが総合計画等を持ちよって進捗管理等を話し合い、学ぶというようなことは行っているのか。

尾崎事業推進監兼企画総務部長

総合計画については、県内全自治体の総合計画の比較というところまでは把握できていないが、県の総合計画については目標値を設定して進捗率の達成、数値目標による進行管理を行っている。今後は他市の総合計画の進捗管理について把握していく。

山下会長

他県の先進的な取り組みで参考にできるようなこと。県外の自治体の施策で鳴門に当てはまること等把握しているか。現段階で把握されてなければ、今後の課題として県外の取り組み事例も研究されてみてはと提案します。個人的ではあるが、県外であれば明石市が子育て施策が先進的と聞いている。

尾崎事業推進監兼企画総務部長

ご提案をいただきました他県の取り組み等については調査研究し、今後実現可能な限り鳴門市にふさわしい施策を検討していきます。

委員

ごみ収集に関して、月曜日と木曜日が可燃ごみの収集日の場合、月曜が振替休日の場合、可燃ごみを一週間家に置いておかなければならない。自治振興会の時にも話題にしたが、あまり前進しなかった。クリーンセンターが月曜日休日のため回収できないというのはあまり進歩がない。考えていただきたい。

もうひとつは、公民館の補助金の問題。『公民館』については補助金が出ているが基本一律である。利用率の高い公民館とそうでない公民館への補助が一律なのは不公平と思われる。

廣瀬市民環境部長

ごみ収集については、収集日が月曜日、木曜日/火曜日、金曜日に分かれている。今年度は特に月曜日が振替休日という日が多いので、収集が滞ることがないように、組み替えて月曜日に収集に行くようにさせていただいている。

大林教育次長

公民館の運営についてですが、鳴門市では公民館が9ヶ所ある、それぞれに自治振興会等と管理委託契約を結んでいる。公民館をできる限り地域の生涯学習拠点として地域が自主的に活用できればということで委託という形にさせていただいている。それぞれ大型の有人公民館、斎田公民館、川東公民館はとくに利用率が高い、委託料については一律に契約をいただいている。

委員

この話は先日公民館の運営委員会があった時に出た話である。最近まで斎田公民館が耐震工事に入っていたので、今では予約がとれないぐらい利用頻度が高いので、事務員の業務も増加している、今後検討いただきたい。

委員

『老人クラブ活性化促進事業』についてですが、老人クラブのメンバーは活躍しているが補助金が少しずつ減っている。事業費としては3,082千円であるが、補助金についてこれ以上、下げないようにしていただきたい。

天満健康福祉部長

老人クラブへの補助金の額については国の基準に従って決定しているが、単位クラブの数や会員の数によるもので、現状は高齢者の数は増えてきているが、クラブ組織率は下がってきている。活性化促進事業という事業なので協力しながら進めていきたい。会員を増やしていくところが一番良い方法である。

委員

鳴門の図書館がリニューアルされて非常に利用しやすくなったが、敷地内の花壇の

近くの駐車場だけでは足りないように感じる。以前のように保護者のために駐車場を借りられるようにしてほしい。

次に、UZUパークについて、とても利用者も多く人気のスポットになっていて良いと思う。現在利用料無料でありがたいが、例えば、市民以外の利用者から利用料をとるということは考えられているのか。

そして、移住事業に関して、空き家バンク等について、窓口業務の中で移住に関してどのような問い合わせがあるのか。問い合わせの件数等、また空き店舗の状況（四方見茶屋）について教えていただきたい。

委員

駐車場の件については、今の駐車場は前の駐車場とほぼ同数の車を駐車することが可能である。以前の駐車場は車の通りが多いため危険だと思われる。

大林教育次長

改修工事をする際に図書館敷地の一部を活用し駐車場を整備している。身障者用の駐車場もある。また少し離れた所の第二駐車場についても整備している。今後図書館の利用者が増えれば、対応を考えていきたい。

三居企業局次長

UZUパークを作った目的として、市のランドマークになるよう、たくさんの人に来ていただけるよう整備した。またポートのPR、鳴門市のPRにつながれば良いと思っている。

利用料については、基本的には公園という位置づけであり、無料で利用いただけるようにしている。原則、施設運営を無人で行っているため、一部だけ有料にすると、人を配置しなければいけない。多くの方に来ていただいているが、有料にして人が減少すると整備したコンセプトに合わなくなる。今のところ、バスケットコート等も利用者で譲り合って使っていただいているので、この状況が続けば良いと思っている。今後問題が発生すれば、その都度対応していきたい。

西上経済建設部長

移住の事業に関してですが、昨年度は95件の相談があった。住むところや就職先に関する相談が多かった。

空き家バンクの登録件数ですが、平成29年度は延べ31件の登録。現在は18件となっており、7件は移住者の方と成立しております。またその他空き家バンクの制度以外のところで契約が成立したケースもあります。スカイラインの四方見茶屋についてですが、問い合わせはありますが、まだ成立しておらず、現在も登録している状況です。

委員

進捗状況を見ると、未達成事業のなかで健康福祉の分野の未達成が多い。住みやすいまちをつくるには子育てや介護等が重要である。ハード面での評価は見えやすいが、ソフト面での進捗は難しい。これらの分野で未達成の事業が多いということは、住みやすいまちとしてはうまくいってないのではないか。今一度これらの施策について関係団体等で考えていく必要があるのではと感じている。

委員

『災害時要援護者支援事業』があるが、災害になった場合、障がい者の方がいる家庭では災害時どういう避難をすればよいか分からない。地域の方ほどのように支援していただけるのかわからない。また、地域の人もどのようなことが手伝えるのかわからない。市がマニュアルを作って周知してほしい。

天満健康福祉部長

本事業においては障がいのある方や65歳以上のみ世帯等の対象者についてはまず登録させていただく。その方たちに通知し、制度説明をさせていただき、個別の支援計画を作成されるかどうかを聞いている。個別支援計画を作ってほしいと申出がある方においては民生委員、自主防災会等にご協力いただき、訪問させていただき、個別計画の説明作成を行っている。

委員

事業については理解しているが、本当に災害があった場合の対応として該当する方には説明をしておられるが、地域の方に対してもどのように支援すれば良いかを話したほうが良いと思う。

山下会長

東日本大震災の時に、釜石市では幼稚園、小学校、中学校の子ども達がほぼ全員助かっている。普段から、釜石市では防災教育が充実していた。高齢者も防災の意識が高く率先して逃げた。このように普段から取り組みをしていたからである。鳴門もぜひ取り組んでほしい。

委員

個別に避難の計画を立ててほしい。自分の命は、自分や自分の家族が助けるという考え方に変わっていく必要がある。自治振興会任せ、自主防災会任せではいけない。自分がどのようにして逃げるかを考えることが必要。

委員

大川小学校では校長先生が不在と時の先生方のマニュアルがある。鳴門市はどのようなマニュアルはあるのか。

大林教育次長

各学校に防災マニュアルがある。校長先生が不在の時は、教頭先生が指揮をとるという形になっている。連絡体制の確認も含めて、生徒達の防災訓練・避難訓練についても各学校で実施している。

委員

基本は、備えあれば憂いなし。何も無い時に考えて備えることが必要。

◆議事（２）令和元年度行政評価について（３）総合計画実施計画（H31-H33）について

※資料②～④に基づき、令和元年度行政評価及び総合計画実施計画（H31-H33）について事務局から説明。

山下会長

新規事業について、事務局の方で特に注目すべき事業がありましたら、挙げていただけますか。

事務局

事業費からみると道路照明 LED 化事業、鳴門駅前の観光整備事業等が挙げられます。

委員

街灯が切れたままの場所が多い。人通りも少なく一人で歩くと危ない。道路照明の LED 化はいつ頃からはなるのか。

西上経済建設部長

防犯灯については地元での取替えをお願いしている。LED 化については、現在、調査を進めており、9 月より順次着工していき、今年度中に LED 化が完了する予定です。

委員

『マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業』はどこで取り組むのか。学校での取り組みになるのか。

廣瀬市民環境部長

マルチスポーツの推進は、幼児期から体を動かすことを体験していただくことにより運動能力の向上に努める。主には市内の総合型スポーツクラブへ委託し、推進に取り組んでいく。

委員

防災無線が聞こえないという意見を聞くが、対策等はあるのか。

尾崎事業推進監兼企画総務部長

防災無線については風の影響等もあり、聞こえにくい時間帯等もあるかも知れない。状況を調査して対応を検討したいと思う。

委員

以前から防災無線は聞こえないとの意見を聞いている。他自治体で導入している各家庭に有線機を置いた方がより市民に周知はできる。費用負担1,000円で実施しているところもあると聞いている。予算の問題はあるかも知れないが是非検討してほしい。

尾崎事業推進監兼企画総務部長

予算、費用の兼ね合いもあり、本市では防災無線という形で整備している。

山下会長

本日委員の皆様からでた意見・要望を鳴門市の施策に反映できるようこれから検討してほしい。

【閉会あいさつ】

————— 閉会 —————